

## 2018年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏名
	教授	増田 孝
最終学歴	学位	専門分野
東京教育大学教育学部芸術学科書専攻	博士 (文学)	日本文化史

### I 教育活動

#### ○目標・計画

(目標)

真に人から信頼され事を任せうる人格の育成をめざして、教養としての歴史学を学修し、自己の人間形成の一助とする。

(計画)

日本の歴史を各時代にわたり、主として日本文化に焦点を当てて学ぶ。

#### ○担当科目 (前期・後期)

(前期) 歴史学、日本文化論

(後期) 歴史学

#### ○教育方法の実践

「歴史学」では『もう一度読む日本史』(山河出版)をテキストとし、原始・古代から近世にいたる通史を概観するようにつとめた。

「日本文化論」では近世初期の和歌をとりあげ、その解説、解釈、人物論などを行った。

#### ○作成した教科書・教材

撮影した古文書の写真データ等を教材として活用

#### ○自己評価

特になし

### II 研究活動

#### ○研究課題

日本人の書いた書を歴史的に考察し、日本人と書のかかわりについて研究する。

#### ○目標・計画

(目標)

難読難解な古文書の新資料に数多く取り組みたい。

(計画)

解説、調査の回数をできる限り増加させ、研究の一層の深化を求めたい

#### ○2011年4月から2019年3月の研究業績 (特許等を含む)

(学術論文)

- ・「飛鳥井雅康の手紙」(『茶の湯』518号 2019.4.1 茶の湯同好会)
- ・「豊蔵坊孝雄の手紙・法童坊孝以の手紙」(『茶の湯』519号 2019.5.1 茶の湯同好会)
- ・「柏舟宗趙の手紙・鳥尾忠晴の手紙」(『茶の湯』520号 2019.6.1 茶の湯同好会)
- ・「沢庵宗彭の手紙」(『茶の湯』521号 2019.7.1 茶の湯同好会)
- ・「島津義久の手紙・曾我古祐の手紙」(『茶の湯』522号 2019.8.1 茶の湯同好会)

- ・「藤原惺窩の手紙・江月宗玩の手紙」(『茶の湯』523号 2019.9.1 茶の湯同好会)
- ・「松花堂昭乗の手紙」(『茶の湯』524号 2019.10.1 茶の湯同好会)
- ・「烏丸光広の手紙・清巖宗渭の手紙」(『茶の湯』525号 2019.11.1 茶の湯同好会)
- ・「後水尾天皇宸翰消息」(『茶の湯』526号 2019.12.1 茶の湯同好会)
- ・「古田織部の書の謎に迫る(その1)」(『茶の湯』527号 2020.1.1 茶の湯同好会)
- ・「古田織部の書の謎に迫る(その2)」(『茶の湯』528号 2020.2.1 茶の湯同好会)
- ・「古田織部の書の謎に迫る(その3)」(『茶の湯』529号 2020.3.1 茶の湯同好会)
- ・「江月宗玩の手が書風三様」(『関』第28号 2019年5.19 全日本石州流茶道協会)
- ・「前田利政の書はなぜ光悦流なのか」(『江戸千家便覧』131号 2019.6 江戸千家連合不白会)
- ・「小堀遠州の手紙-宝積経要品の短冊をめぐって-」(『江戸千家便覧』132号 2019.11 江戸千家連合不白会)

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況(学内外)

なし

○所属学会

日本古文書学会 書学書道史学会 茶湯文化学会

○自己評価

個人の研究会である「東京手紙の会」(会員48名)を毎月開催し、新資料の発表と積読を実施している。既に40年已上継続している会で有、成果を上げていると評価している。

### III 大学運営

○目標・計画

(目標)

(計画)

○学内委員等

○自己評価

### IV 社会貢献

○目標・計画

(目標)

各種講演会やテレビ出演等、知の社会還元に努めたい。

(計画)

特になし

○学会活動等

特になし

○地域連携・社会貢献等

- ・「名古屋NHK文化センター講座(手紙に読む書と歴史 月1回)
- ・「朝日カルチャー講座」(手紙から読み解く古文書 月1回)
- ・「中日文化センター講座」(手紙から読み解く日本史 月1回)
- ・「東海東京証券主催 プレミア講座(豊田市)」

○自己評価

テレビ東京系「開運なんでも鑑定団」（出張鑑定，スタジオ鑑定）の出演が相当数にのぼった。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学术交流、自己研鑽等）

新発見史料がたいへんに多く、その意味では極めて成果の多い一年であったと感じている。

VI 総括

この研究分野は、ひとえに新資料の発見とその研究であるから、今後も一層の充実を期したいところである。

以 上